

## 連合会だより

### 連合会と国土交通省との意見交換会（設計変更の適切な実施へ指針整備・普及求める）

全国土木施工管理技士会連合会（紀陸富信会長代行）は平成19年11月27日、東京都千代田区の東海大学校友会館で、国土交通省との意見交換会を開催した。意見交換会の冒頭のあいさつで谷口技監は「効率よく建設を推進するにはパートナーシップが大切だ。具体的な案件を挙げ、問題点を早めに解決するスピードが重要だ」との考えを示した。

連合会は、平成19年3月にまとめた土木施工管理技士へのアンケート結果を基に適正な設計変更の実施に向けたガイドラインの整備・普及、道路使用や地元折衝が済んでいない段階で工事が発注され、手持ちとなるケースも多いとして、概略発注を抑制するとともに、調整が必要な場合には費用の割り増しを行うよう提案した。

アンケートで全国1,135人の施工管理技士から寄せられた現場の課題に関する生の意見を基に、同連合会が改善策を提案し、その内容について意見を交わした。

①発注者への改善要望が最も多かった「設計変更の適切な実施」については、有益なガイドライン（案）を関東地方整備局が策定していることから、同様のガイドラインの全国的な整備・普及を要請。設計変

更が実施された場合も、工期の遅れによる待機人員などの損失が発生するとして、施工者側への配慮を求めた。

②発注の平準化に向けては、年度下半期にある程度、翌年度予算事業の精算や入札までの総合評価手続きを行っておき、予算が通ればすぐに入札公告を行える体制を整備することも要請した。

③監理技術者講習の効果を高めるため、講習後の試験の平均点や順位などを公表し、受講者の動機付けにすることも提案した。

提案を受けて国土交通省は、設計変更ガイドラインの普及や監理技術者講習の試験結果の公表などについて前向きに対応する方針を示した。



左から、高橋技術調査官、望月技術参事官、谷口技監、佐藤技術審議官

#### 【技士会会員限定のお知らせ】

JCMマンスリーレポートと土木施工管理技術論文がHP（www.ejcm.or.jp）から技士会会員限定で閲覧・用語検索ができるようになりました。

1. （社）全国土木施工管理技士会連合会（JCM）のHP左側のサイト（技士会会員）を選択
2. 技士会員用へのログインで技士会員用画面にログインIDとパスワードを入力（ログインIDとパスワードのお問い合わせは、各所属技士会にお願いいたします。）
3. JCMマンスリーレポート・土木施工管理技術論文の公開を選択してください。

